

消雪パイプにより冬期の通行に

配慮した狭さを設置



現地で狭さの具体的な

位置や形状を住民と共有



10.新潟県阿賀野市
(緑町地区)

写真提供: 阿賀野市

広域図



背景の地図の出典: 国土地理院

整備計画等 策定状況

生活道路対策エリア

対策の内容

- ゾーン 30 に指定
- 単路部狭さく(片側)1箇所
- 単路部狭さく(両側)1箇所 他

生活道路の 課題

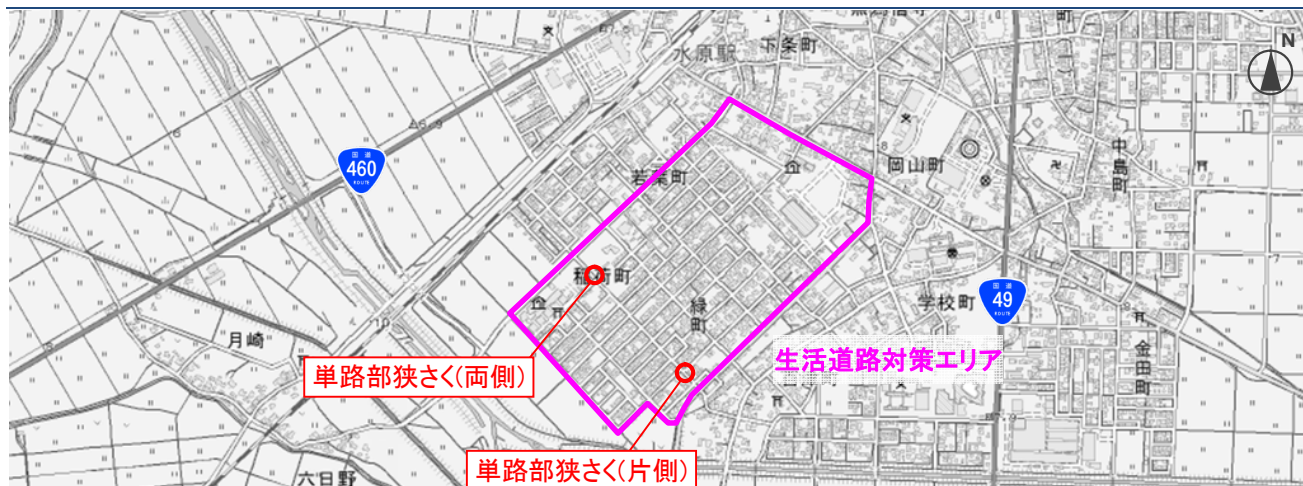
- 朝夕の水原駅への送迎車による抜け道利用が多く、車両の走行速度の高い(30km/h以上の車両が58%程度*)
- 病院、診療所、保育園、介護施設などがあり、歩行者の通行が多い

*ETC2.0 プローブ情報

設置の
特徴消雪パイプにより冬期の通行に
配慮した狭さを設置

物理的デバイスの概要

設置箇所



背景の地図の出典：国土地理院

設置内容

	内 容	備 考
設置箇所数	2 箇所	
設置時期	2017 年 9 月	
狭さくの形状	【単路部狭さく(両側)】 <ul style="list-style-type: none"> ・狭小部の幅員 3m ・狭小部の長さ 2m ・すりつけ部の長さ 2m 【単路部狭さく(片側)】 <ul style="list-style-type: none"> ・狭小部の幅員 4m ・狭小部の長さ 2m ・すりつけ部の長さ 2m 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術基準を参考
構造及び 付属施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム製ポール ・自発光鋲 ・路面表示 ・路側帯のカラー化 	<ul style="list-style-type: none"> ・路側帯：緑
技術的な工夫	<ul style="list-style-type: none"> ◆生活道路内の車両の速度抑制を図るため、対策エリア入口部に狭さくを設置 ◆夜間の視認性に配慮し、ゴム製ポールは部材全体で反射性が高いものとし、ポール基部に自発光鋲を設置 ◆狭さくの長さは、沿道家屋の乗り入れ等に影響を与えないよう、官地の前面におさまるよう形状を調整 ◆住民や警察との協議にて、混雑時に車列のできる可能性がある箇所では、すれ違いが可能になる幅員(狭小部 4m)とした ◆冬期の通行に支障をきたさないよう、消雪パイプと併せて運用 	

設置状況

単路部狭さく(両側)



提供: 阿賀野市

概観

単路部狭さく(片側)



提供: 阿賀野市

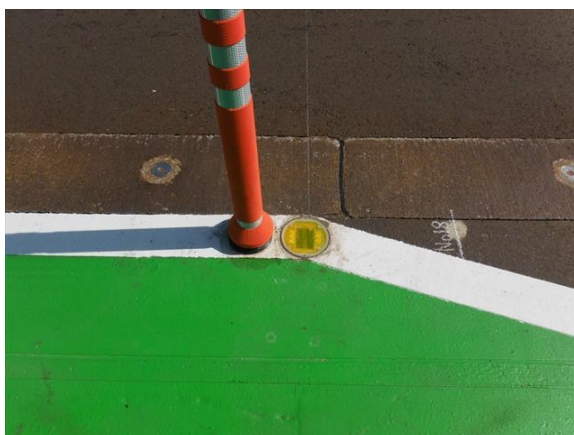
概観



通行状況



対策エリア入口部での狭さく設置



提供: 阿賀野市

ゴム製ポール及び自発光鋲



通行状況

合意形成
のポイント現地で狭さく具体的な
位置や形状を住民と共有

設置に至るまでの経緯と合意形成の概要

設置に至るまでの経緯
(道路管理者の動き)

合意形成の概要

生活道路対策エリア登録(2016.3)

2016.8 関係者打合せ

・ETC2.0 プローブ情報による交通分析結果



散水消雪の路線で、近年の積雪深さも30cm程度であり、特別な管理を要せず視認性が確保できることから狭さくを選定

2016.10 阿賀野市生活道路対策推進
会議

・対策箇所及び内容



対策推進会議を組織して、迅速に対策案を作成

2016.11 第1回住民説明会

・対策箇所及び内容

2016.12 現地立会

・対策箇所及び内容

2017.2 第2回住民説明会

・再検討による対策案の説明




現地で関係者が一緒に詳細な形状を決定

本設置(2017.10)

- ・単路部狭さく(両側)1箇所
- ・単路部狭さく(片側)1箇所

PDCA の中での合意形成の内容とポイント

段階	説明手法・内容	道路管理者の考える合意形成のポイント 
現況調査 計画策定 ＜Plan＞	<p>❖ 関係者打合せ</p> <p>実施日 2016年8月 参加者 国土交通省、阿賀野市、阿賀野警察署 提示資料 ETC2.0 プローブ情報による交通分析結果(国土交通省)、ゾーン 30 整備について(阿賀野警察署)</p> <p>❖ 阿賀野市生活道路対策推進会議</p> <p>実施日 2016年10月 参加者 関連地区自治会長、小学校、保育園、国土交通省、阿賀野市、阿賀野警察署 提示資料 対策箇所及び内容</p> <p>❖ 第1回住民説明会</p> <p>実施日 2016年11月 参加者 自治会、阿賀野市 提示資料 対策箇所及び内容</p> <p>❖ 現地立会</p> <p>実施日 2016年12月 参加者 住民、阿賀野市 提示資料 対策箇所及び内容</p> <p>❖ 第2回住民説明会</p> <p>実施日 2017年2月 参加者 自治会、阿賀野市 提示資料 再検討による対策箇所及び内容</p>	<p>• 散水消雪の路線で、近年の積雪深さも30cm程度であり、特別な管理を要せず視認性が確保できることから狭さくを選定</p> <p>• 対策推進会議を組織して、迅速に対策案を作成</p> <p>• 狭さく設置箇所については、住民説明会を開催し、了解を得ることを条件に対策内容を合意</p> <p>• 短期間で検討の大枠の合意を得た</p> <p>• 現地で狭さくの設置位置をチョークで示すなどして関係者と一緒に具体的な形状をイメージ</p>
対策実施 ＜Do＞	<p>❖ 本設置</p> <p>運用開始 2017年10月</p>	
評価 ＜Check＞	ETC2.0 プローブ情報等のビッグデータにより効果検証を実施 車両速度の低下を確認	
対策改善 ＜Action＞	引き続き道路交通状況の確認を行う	

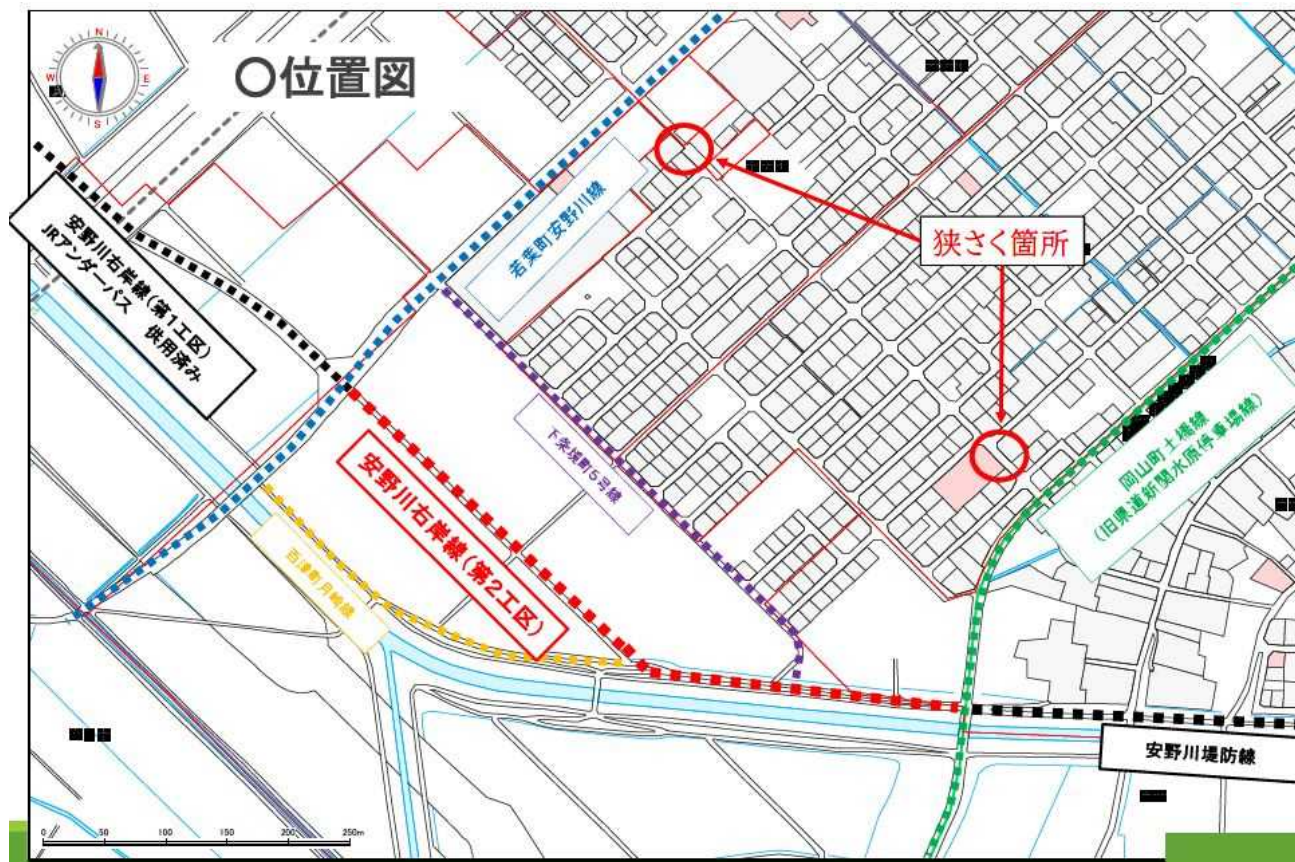
合意形成における道路管理者からみた特筆事項

円滑な検討に 結びついた点	<p>◆ 狭さく設置箇所について、様々な意見が出されたが、その都度計画の見直しを行い、住民との現地確認を重ね粘り強く着地点を探した。</p>
考えられる 今後の工夫	<p>◆ 詳細の形状や箇所を住民説明会で決定することにより、最後は行政と各住民とのやりとりになってしまったため、今後は行政主体となり住民説明会でなく、地区全体で意見交換しながら検討する進め方にしたい。</p>

NEW!

新潟県阿賀野市(緑町地区)

その他参考資料



提供: 阿賀野市